



令和3年12月6日
報道発表資料

担当課名	観光交流課
担当者名	池田、山崎
電話番号	0856-31-0331
FAX番号	0856-23-4655
E-mail	kouryu@city.masuda.lg.jp

中国・寧波市との友好交流議定書締結30周年記念事業 オンライン農業交流について

益田市は、中国・寧波市と友好交流議定書を締結して30周年を迎えました。友好都市30周年を記念してオンラインによる農業交流を行いますので、ご案内いたします。

記

1. 日 時 令和3年12月10日（金）11：00～

2. 場 所 益田市役所 本庁舎3階 第2会議室

3. 参加予定者

【寧波市】

- ・農業農村局（農業・農村事業の全体を担当する部署）の職員
- ・農科院（農業面での技術研究をする部署）の職員
- ・外事弁公室（友好都市交流担当部署）の職員

【益田市】

- ・市産業経済部観光交流課及び農林水産課の職員
- ・島根県農業協同組合西いわみ地区本部の職員
- ・島根県西部農林水産振興センター益田事務所の職員

4. 内 容

(1) あいさつ

寧波市：外事弁主任（部長級）又は副主任（副部長級）

益田市：産業経済部長

(2) 両市の農業全般についての紹介

(3) 各市からの質問事項について

【益田市から寧波市へのリクエスト】

都市化が進む中での優良な農地面積の維持方法、農業機械化、農科院で研究・開発した新技術の農業者への伝える手段、施設園芸の自動化

【寧波市から益田市へのリクエスト】

農村振興、農業機械化、施設園芸農業の発展、青果物のマーケティングとブランド化

(4) 議題についての質疑応答

※当日の取材、撮影については、両市の農業技術等保護の観点により、(1)の両市代表者による挨拶までとし、(1)あいさつが終わり次第((2)両市の農業についての紹介の前)、報道関係者の皆様には退室いただきますので、予めご了承ください。

5. その他

提携の経過

益田を終焉の地とする室町時代中期の画聖「雪舟」が明国を訪問した際に、寧波の天童寺で僧堂の首座に就いたことに由来する交流です。昭和63年に初めて友好使節団を派遣し、交流について協議を行い、平成3年10月20日に友好交流議定書を締結して以来、文化、スポーツ、農業、経済等のさまざまな分野で交流を行ってきました。

寧波市の概要

天然の良港を持つ寧波は、古くは明州や慶元と呼ばれ、日中交流史に度々登場します。中国大陸部の沿岸線の中部に位置し、総面積は9816 km²、戸籍登録人口は613.7万人になります。世界4番目の港湾都市として栄えています。

以上。